



平成27年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社
コード番号 4829 URL <http://www.nihon-e.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝

四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日

TEL 03-5774-5730

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第3四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成27年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	3,740	14.1	114	△55.0	125	△51.4	162	△60.8
26年5月期第3四半期	3,277	9.1	255	△6.3	259	△9.3	414	164.0

(注) 包括利益 27年5月期第3四半期 61百万円 (△89.2%) 26年5月期第3四半期 571百万円 (△9.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第3四半期	4.24	4.23
26年5月期第3四半期	10.99	10.96

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成25年12月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行ったことを踏まえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し、当該数値を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年5月期第3四半期	6,163	126.23	5,274	126.23	82.9	126.23
26年5月期	5,541	111.20	4,360	111.20	75.7	111.20

(参考) 自己資本 27年5月期第3四半期 5,109百万円 26年5月期 4,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,130	13.8	220	△34.4	230	△32.4	180	△58.8	4.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 株式会社HighLab 、除外 1社 (社名)
 詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期3Q	40,480,000 株	26年5月期	37,700,000 株
② 期末自己株式数	27年5月期3Q	— 株	26年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期3Q	38,338,886 株	26年5月期3Q	37,700,000 株

(注)発行済株式数については、平成25年12月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行ったことを踏まえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し、当該数値を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるモバイルコンテンツを取り巻く環境は、iPhoneやAndroid端末等のスマートフォンの普及が更に本格化し、携帯電話の契約数に占める割合は、50.3%（平成26年9月末、注1）まで拡大しております。また、スマートフォンにおけるモバイルコンテンツ市場は、8,336億円（平成25年、注2）まで成長している状況にあり、今後も同環境は大きく発展していくことが予想されます。

これらの状況において、当社グループといたしましては、高機能で付加価値の高いサービスの開発・提供及び新しい事業モデルの構築を推進し、より安定した企業基盤の確立と事業拡大に向けた一層の企業努力を重ねてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は37億40百万円（前年同四半期比14.1%増）、営業利益は1億14百万円（同55.0%減）、経常利益は1億25百万円（同51.4%減）、四半期純利益は1億62百万円（同60.8%減）となりました。

（注1）株式会社MM総研 発表

（注2）一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム 発表

各セグメントの業績は、次のとおりです。

<コンテンツサービス事業>

コンテンツサービス事業におきましては、フィーチャーフォン（従来型携帯電話）からスマートフォンへの移行がより一層進む中、配信するコンテンツを自社制作することで「提供コンテンツの権利を自社で保有」する当社独自のビジネスモデルをベースに、提供するサイトやアプリの充実化を進めてまいりました。

キャリア（移動体通信事業者）向けサービスについては、公式サイトにおいて、フィーチャーフォンからスマートフォンへ移行が進む中、自社広告媒体である店頭アフィリエイトを有効に活用し、月額課金コンテンツの提供を行ってまいりました。また、キャリアの強力な販売施策のもと利用者の広がるスマートフォン向け定額サービス「スゴ得コンテンツ」、「auスマートパス」、「App Pass」に対し、提供コンテンツの追加投入とプロモーションを積極的に行ってきた他、格安スマートフォンでは初のアプリ取り放題サービスとなる「アプリ超ホーダイ」等、新たに開始されたスマートフォン向け定額サービスに対してもコンテンツの提供を行ってまいりました。

一方で、「App Store」や「Google Play」等のマーケットからコンテンツを入手するネイティブアプリ（スマートフォン等の端末上で動作するプログラムによって作られたアプリ）を同事業の次なる柱とすべく、当社の連結子会社「株式会社HighLab」にて、積極的にプロモーションを実施するとともに、品質改善・機能追加・新規コンテンツの開発を行ってまいりました。

以上の結果、コンテンツサービス事業の売上高は19億11百万円、セグメント利益は4億39百万円となりました。

<ソリューション事業>

ソリューション事業におきましては、広告ビジネス「店頭アフィリエイト」について、既存の携帯電話販売会社との連携強化、新規の携帯電話販売会社の開拓、取り扱い店舗数の拡大を積極的に推し進めた結果、大幅に増収となりました。

コンテンツの企画、構築、運用、デバッグ、サーバ保守管理等の法人向けサービス提供については、当社の連結子会社「株式会社フォー・クオリア」との連携を強化し、スマートフォン及びタブレット（多機能携帯端末）を活用したニーズの拡大に合わせて、開発スピード・提供量・品質を充実させてまいりました。

一方、業務支援サービスについては、引き続き、リバースオークション&見積徴収システム『Profair』を推し進めてきた他、スマートフォンを活用した企業の内線電話網を構築するアプリケーション『AplosOneスマートフォン』や法人向けメッセージングアプリ『BizTalk』の提供を行うとともに、代理店・取次店の開拓を推し進めてまいりました。

海外では、中国の上海エリアに出店した2店舗の携帯電話販売店（チャイナテレコムショップ）にて、携帯電話端末の販売を行うとともに、コスト効率を追求し、収益構造の改革に取り組んでまいりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は18億29百万円、セグメント利益は1億30百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して6億22百万円増加し、61億63百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金の増加により前連結会計年度末と比較して8億86百万円増加し、48億96百万円となりました。固定資産においては、主にソフトウェアの増加及び投資有価証券の減少により前連結会計年度末と比較して2億64百万円減少し、12億67百万円となりました。

負債につきましては、主に繰延税金負債及び未払法人税等の減少により前連結会計年度末と比較して2億91百万円減少し、8億89百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上、増資に伴う資本金及び資本剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の減少及び剰余金の配当により前連結会計年度末と比較して9億13百万円増加し、52億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の連結業績予想につきましては、平成27年1月9日公表の連結業績予想値に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増した株式会社HighLabを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,247,011	4,031,976
受取手形及び売掛金	639,120	635,561
商品	13,708	18,176
仕掛品	33,435	93,699
貯蔵品	264	250
その他	82,325	122,631
貸倒引当金	△5,753	△5,777
流動資産合計	4,010,112	4,896,519
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	48,380	45,106
土地	12,400	12,400
その他(純額)	25,204	21,915
有形固定資産合計	85,985	79,421
無形固定資産		
のれん	81,771	59,096
ソフトウェア	232,136	325,737
その他	40	29
無形固定資産合計	313,948	384,863
投資その他の資産		
投資有価証券	987,707	671,896
長期預金	14,490	14,490
長期貸付金	2,370	-
繰延税金資産	7,620	7,386
その他	119,230	109,021
投資その他の資産合計	1,131,419	802,793
固定資産合計	1,531,354	1,267,079
資産合計	5,541,466	6,163,598

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	279,881	292,142
未払法人税等	256,852	80,985
賞与引当金	-	11,326
役員賞与引当金	-	2,078
その他	351,034	299,437
流動負債合計	887,767	685,970
固定負債		
退職給付に係る負債	23,553	29,247
その他	269,377	173,896
固定負債合計	292,930	203,144
負債合計	1,180,698	889,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	595,990	1,099,309
資本剰余金	473,942	977,261
利益剰余金	2,629,726	2,665,364
株主資本合計	3,699,660	4,741,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	453,040	290,296
為替換算調整勘定	39,522	77,760
その他の包括利益累計額合計	492,562	368,056
新株予約権	2,482	3,607
少数株主持分	166,063	160,884
純資産合計	4,360,768	5,274,484
負債純資産合計	5,541,466	6,163,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
売上高	3,277,649	3,740,741
売上原価	1,686,177	1,945,673
売上総利益	1,591,471	1,795,067
販売費及び一般管理費	1,335,990	1,680,193
営業利益	255,480	114,873
営業外収益		
受取利息	2,181	1,860
受取配当金	1,911	1,079
受取賃貸料	888	999
補助金収入	8,894	12,060
その他	7,219	4,197
営業外収益合計	21,095	20,198
営業外費用		
支払利息	—	18
管理手数料	395	267
為替差損	469	7
支払手数料	16,475	8,528
その他	89	257
営業外費用合計	17,430	9,079
経常利益	259,145	125,993
特別利益		
投資有価証券売却益	516,750	331,231
特別利益合計	516,750	331,231
特別損失		
固定資産除却損	565	10,399
持分変動損失	105	318
特別損失合計	671	10,717
税金等調整前四半期純利益	775,224	446,507
法人税、住民税及び事業税	315,326	246,248
法人税等調整額	19,091	14,010
法人税等合計	334,418	260,258
少数株主損益調整前四半期純利益	440,805	186,248
少数株主利益	26,479	23,722
四半期純利益	414,325	162,526

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	440,805	186,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96,199	△162,743
為替換算調整勘定	34,880	38,238
その他の包括利益合計	131,080	△124,505
四半期包括利益	571,885	61,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	545,405	38,020
少数株主に係る四半期包括利益	26,479	23,722

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年12月9日開催の当社取締役会に基づき、平成26年12月24日を払込期日とする公募による新株式発行(2,357,000株)及び平成27年1月21日を払込期日とする第三者割当による新株式発行(423,000株)を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ503,319千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は1,099,309千円、資本剰余金は977,261千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,831,656	1,445,992	3,277,649	—	3,277,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	46,631	46,631	△46,631	—
計	1,831,656	1,492,623	3,324,280	△46,631	3,277,649
セグメント利益	589,082	93,270	682,353	△426,873	255,480

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△426,873千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,911,567	1,829,173	3,740,741	—	3,740,741
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	54,499	54,499	△54,499	—
計	1,911,567	1,883,672	3,795,240	△54,499	3,740,741
セグメント利益	439,810	130,838	570,648	△455,775	114,873

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△455,775千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。